

来たる11月5日、友愛セールを予定しています。前任校でも友愛セールをしていました。そのときの教頭の挨拶として「秋深し 隣は何をする人ぞ」という松尾芭蕉の句を引用させていただきました。

最近では、「近隣の人への感心が薄れ、どんな人か、何をしているのか知らない」などということも多いようです。そんなときにこの芭蕉の句が引用されることが多いようですが、本来の意味、ご存じでしょうか？この句は、芭蕉が俳句の会に呼ばれて大坂（今の大阪です）に出かけたとき、風邪をひいて伏せていたそうです。「一人で寝ているなんて・・・」と考えていたら、お隣では何かにぎやかにしていて、何をしているんだろう、と興味津々で耳をすまして聞いていたときの句なんだそうです。つまり、無関心ではなく、全く正反対の意味を持つ句だったんですね。ちなみに原文は「秋深き・・・」だそうです。

友愛セールも、お互い、自分の家では不要となった物でも誰かが必要としてくれるならという趣旨で始まった、意義のある行事です。どんな物があるのか興味津々でご参加ください。素敵なものがたくさんありますよ。また、今週末までは受け付けておりますので、提供品がありましたらぜひ学校までお持ちください。

船穂小学校 教頭 千賀敦司